

平成30年度 「道ひとすじに」に向けて、こう取り組みます 東部中学校

新学習指導要領・教育基本法・日本国憲法
豊かな人間性・自ら学び考える力などの「生きる力」

長野市教育の基本理念
明日を拓く深く豊かな人間性の実現・グローバルな18歳の育成

長野県教育委員会重点施策(3つの柱)
学びの改革・すべての子どもの学びの保障・体力向上

学校教育目標：道ひとすじに 一 自分から行動できる生徒 二 規律を重んじる生徒 三 人の心に寄り添える生徒 四 命を大切にする生徒

人間関係を結ぶ力を高めるために

～道徳、人権同和教育の時間、ライフスキル学習を中核に、「考える・見返す」学習を展開し、人に寄り添い、命を大切にする心を育てます～

- ★道徳・人権同和教育・性教育・特別支援教育の充実
- ★全学年ライフスキル学習を実施(水曜6校時・年30時間)
- ★いじめ、不登校、生徒指導への対応
 - ・不登校生徒数の減少をめざす。
 - ・外部機関とも連携した生徒指導対応
- ★教育相談及び相談機関の充実
 - ・年間通じた教育相談(相談週間：年2回)
 - ・生徒相談室、校内中間教室の設置
 - ・SC：週1回 特支巡回相談員：月1回 の活用
 - ・教育相談センターの就学相談・訪問相談：随時

30年度重点目標(スローガン)

自分で考える・自分を見返す

29年度学校評価から

- ①学力向上に向けての取組(授業改善を中心に)
- ②安全・安心な教育環境(教育相談・人間関係づくり)
- ③保護者との連携(広報の充実・双方向の情報共有)
- ④地域と学校との連携(信州型CS)

学校生活を向上させるために

～生徒会活動を中核に「考える・見返す」場面を保障し、自分たちで学校生活を向上できるようにします～

- ★生徒会活動 『結(ゆい)』
～あいさつでつながろう!みんなの笑顔と東部の伝統～
- ★清掃活動～自分自身の成長：「一息」「無言清掃」
- ★学年行事～協調性と主体性の育成
 - ・1年：妙高自然の家 宿泊学習<一泊二日>
 - ・2年：職場体験学習、平和学習
 - ・3年：修学旅行(広島)<二泊三日>
- ★部活動～「時を守り、場を清め、礼を正す」の具現
 - ・県及び市の方針の実施(朝の部活動を原則廃止)

確かな学力を身につけるために

～授業の「ユニバーサルデザイン化」を基本とした授業改善とドリル学習等の学力向上支援により、全ての生徒がわかる喜びや学ぶ意義を実感できる授業を目指します～

- ★授業改善 ◇「授業のユニバーサルデザイン化」⇒「すべての生徒がわかる喜びや学ぶ意義を実感できるために、配慮を要する生徒には『ないと困る支援』で、他の生徒にも『有効な支援』を、学級の実態、教科の特性、指導場面などに合わせて工夫した授業づくり」
◇生徒による授業評価を活かした授業改善⇒指導力向上研修に結びつける。
- ★達成度目標 ◇全国学力・学習状況調査、PDCA、活用問題調査等の数値を県・全国平均値に近づける。
- ★指導力向上研修 ◇「教科指導」1公開6参観の継続・充実、指導主事を要請した授業公開と授業改善
- ★学力向上支援 ◇ボランティアによる放課後学習、通常授業支援、定期テスト前の朝の時間等を活用したドリル学習

保護者・地域との連携を深め、よりよい学校づくりを進めるために ～PTA活動を中核に、諸活動を見返し、重点目標に迫る活動をめざします～

- ★PTA活動の充実：テーマをもった学級懇談、悩みや不安を共有できる懇談の位置づけ等による双方向での情報共有の機会を大切にし、参観日の出席者を増やす。
- ★情報の共有：参観日(学校開放日)、学年・学級通信、学校だより、学校ホームページ、安全・安心メール等による情報共有
- ★地域との連携：信州型コミュニティスクールの取組(学校ボランティアの拡充)、キャリア教育、地域行事への参加、認知症サポーター 等

学校評価：PDCAサイクルによる見返し

- ・D：実践(1学期)→C：一次評価(夏休み)→A：修正実行(2学期)→C：二次評価(2学期後半)→A：修正実行(3学期)→P：次年度計画(3学期)
- ・評価方法：「生徒による評価(授業評価を含む)」「職員による評価」「地域・保護者による評価」「学校評議員による評価」